

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年3月5日 (2015.3.5)

【公開番号】特開2013-169395(P2013-169395A)
 【公開日】平成25年9月2日 (2013.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報2013-047
 【出願番号】特願2012-36202(P2012-36202)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 1 B

A 6 1 B 6/03 3 2 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月19日 (2015.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体が載置される天板を挿入するための開口部が設けられた筐体と、前記開口部を挟むように対向配置された X 線管球及び X 線検出器が設けられ、前記開口部の回りを回転可能に前記筐体の内部に収納された回転体とを有し、前記回転体の外面と当該外面に対向する前記筐体の内面との少なくとも一方に凹凸部が設けられた X 線 C T 用の架台装置において、

前記凹凸部の凹部を塞ぐように配置された閉塞部材を有することを特徴とする X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 2】

前記凹部は、軽量化用の貫通孔を有することを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 3】

前記回転体は、回転中心を筒軸とする円筒部を有し、

前記凹部は、前記円筒部の内壁に円周方向に並べられた前記 X 線管球及び前記 X 線検出器を含む複数の機器において、前記円周方向で隣接する前記機器の間の隙間を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 4】

前記閉塞部材は、前記筐体または前記回転体の材料より軽い及び／または薄い材料により、前記凹部の周縁部と滑らかに連続するように形成される

ことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 5】

前記閉塞部材は、前記凹部を覆うように配置されることを特徴とする請求項 4 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 6】

前記閉塞部材は、前記回転体、前記筐体及び前記機器のいずれかに取り付けられる被固定部を有し、

前記被固定部は、前記凹部を塞ぐための本体と一体または別体に形成されている

ことを特徴とする請求項 3 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 7】

前記閉塞部材は、ハットチャンネルの断面形状に形成され、両脚部及び頂部を有し、
前記両脚部は、前記貫通孔の周縁部の裏面側に固定され、
前記頂部は、前記貫通孔の周縁部の表面側に連続する
ことを特徴とする請求項 2 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 8】

前記閉塞部材の外周部は、外周に沿うように設けられた凸条部または溝の一方を有し、
前記凹部の内周部は、内周に沿うように設けられた前記凸条部または前記溝の他方を有し、

前記閉塞部材は、前記凸条部が前記溝に係合することにより、前記凹部に装着されることを特徴とする請求項 4 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 9】

前記閉塞部材は、前記凹部に充填するように配置されことを特徴とする請求項 4 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 10】

前記凹部に充填される材料は、ゴム充填剤、シリコン充填剤、エポキシ充填剤、及び、発泡充填剤のいずれか一つまたは二以上を組み合わせたものであることを特徴とする請求項 9 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【請求項 11】

前記凹部は、前記架台に設けられ、前記 X 線管球からの熱を前記架台の外部へ通すための連通口であり、

前記閉塞部材は、前記連通口を開閉するルーバーである

ことを特徴とする請求項 4 に記載の X 線 C T 用の架台装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、実施形態の架台装置は、被検体が載置される天板を挿入するための開口部が設けられた筐体と、前記開口部を挟むように対向配置された X 線管球及び X 線検出器が設けられ、前記開口部の回りを回転可能に筐体の内部に収納された回転体とを有し、回転体の外面とそれに対向する筐体の内面との少なくとも一方に凹凸部が設けられ、凹凸部の凹部を塞ぐように配置された閉塞部材を有する。